

令和8年度

事業計画書

公益財団法人東広島市教育文化振興事業団

令和8年度事業計画書

基本方針

東広島市における教育、文化、芸術の振興及びスポーツの振興に関する事業を行い、もって心豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の向上に寄与することを目的として、次の事業を行います。

『公益目的事業』

■ 東広島市における教育文化芸術の振興及び国際化の推進に関する事業 (公1)

1 文化活動支援事業（文化・学習センターの一体的な管理・運営）【拡】

市民の基礎的な学習機会を支える事業として、すべての市民に開かれた学びの入口の学習環境を整備します。公益性を大切にしながら、地域課題の解決につながる学びへと発展させ、その成果が地域社会に広がっていくことを目指します。学びと実践が自然に循環する地域社会の基盤づくりを着実に推進します。

(1) 生涯学習基盤の形成と学びの循環の推進

市民が生涯にわたり主体的に学び、その成果を地域の力へと還元する「学びの循環」を構築します。基礎的学習を土台に、地域課題解決へと接続する体系的な学習構造を構築します。その推進体制として専門職員を配置し、学習支援機能の強化と事業の質的向上を図ります。

ア 多世代にわたる学びの機会の提供

多世代・多様な市民が参加できる学習機会を計画的に提供し、ライフスタイルや社会的背景に配慮した柔軟な運営を行います。あらゆる市民が学びにアクセスできる包摂的な環境を整備するとともに、これまで参加が限定的であった層にも学びの機会が広がるよう、情報発信と事業設計の工夫を重ね、参加の裾野の拡大を図ります。

イ 高度専門分野に触れる探究型プログラムの充実

市内大学・試験研究機関等と連携し、科学技術分野に加え、生態系や環境問題など持続可能な社会の構築に関わる諸課題を含む先端的知見に触れる探究型プログラムを展開します。対面とデジタル双方の特性を活かした柔軟な学習環境を整備し、基礎から発展へと段階的に深化する学びの流れを構築します。子どもから大人までの知的好奇心と探究心を育み、社会的課題を主体的に考える力を養います。

(2) 地域課題の解決につながる学びの推進

学習成果を地域活動へ還元する仕組みを整備し、「学ぶ」から「実践する」への循環を制度的に確立します。

ア 地域課題解決型プログラムの重点化

地域共生、まちづくり、地域福祉等をテーマとした実践型講座を重点化し、社会的課題を自ら考え行動できる市民の育成を図ります。地域リーダー養成の視点を取り入れ、社会的波及効果が見える事業構成にします。

イ 学習成果の地域活動への活用（伴走支援体制の強化）

専門職員による巡回型・伴走型支援を実施し、学習成果の地域還元を促進します。地域団体との連携を強化し、学びが地域実践へと発展する持続的循環モデルを形成します。

(3) 地域文化の振興とシビックプライドの醸成

地域の歴史・伝統文化・文化資源を活用した学習・交流事業を展開し、市民が地域の価値を再認識する機会を創出します。文化活動への主体的参加を通じてシビックプライドを醸成し、地域文化の継承と創造を担う人材基盤を強化します。

(4) 多文化共生社会の形成に向けた学びの推進

多様な背景を持つ市民が相互に理解を深め、ともに地域を支える力を育む学びを推進します。既存講座や地域活動への自然な参加を促し、対話や協働を通じて共通理解と共感を醸成します。青少年・若年層の参画や多言語・やさしい日本語による情報発信を通じ、日常の学びと交流の中で共生の循環を形成します。

(5) 市民参加と協働の推進

市民団体、大学、企業等との連携を体系化し、多様な主体が協働できる学習環境を整備します。SNS や公式ホームページ等を活用し、講座成果の可視化と情報発信を強化することで、公益性と社会的効果を明確に示します。

(6) 効果的な施設運営（学びを支える基盤機能の強化）

生涯学習の振興や地域課題解決につながる事業を着実に推進するためには、それらを支える安定的で計画的な施設運営が重要です。市民が安心して学び、交流し、実践へとつながる環境を整え、文化・学習拠点としての機能向上を図ります。

ア 開かれた学習・交流拠点の形成

誰もが利用しやすい環境づくりを進め、学びと交流が自然に生まれる拠点形成を目指します。利用状況や地域ニーズを踏まえた運営改善を重ねることで、市民の主体的な参加と協働を支える基盤を強化します。

イ 安心な施設環境の確保

計画的な保守点検や環境整備を実施し、安全性と快適性を両立した施設運営を行います。学習活動に安心して取り組める環境を維持し、継続的な利用につながる信頼性の確保に努めます。

ウ リスクマネジメント体制の充実

災害や事故等を想定した対応体制を整備し、職員研修やマニュアルの充実を通じて組織的な危機管理能力を高めます。予防的な視点に立った管理体制を構築し、安定的な事業運営を支えます。

エ 利用者視点に立った運営改善

利用者の意見や評価を継続的に把握し、事業内容や施設サービスの改善に活かします。学習成果の蓄積と満足度の向上を図りながら、公益性と運営の質の向上を両立させていきます。

2 文化振興（自主企画）事業【拡】

主催事業で培われた基礎的な学びを発展段階へと接続する領域として位置付けます。専門性の高い学習機会と質の高い文化芸術体験を通じて、地域における文化的価値の創造と持続可能な運営基盤の形成を図ります。あわせて、事業の特性に応じた適切な負担のあり方を整理しながら、市民の主体的な参画を促進します。

（1）発展的・専門的学びの展開

基礎的学習を土台に、より高度で専門性の高い学びへと発展させる事業を展開します。理論と実践の往還を意識し、学習成果が地域社会に還元される構造を構築します。

ア 大学・専門家等と連携した高度専門講座

大学研究者や各分野の専門家と連携し、先端的知見や専門理論に触れる体系的な講座を実施します。分野横断的な視点を取り入れながら、受講者の理解を深化させ、探究的思考力の向上を図ります。

イ 実践・体験型学習プログラム

地域資源や社会課題を題材とした参加体験型学習を展開します。現場での体験と対話、振り返りを通じて、学んだ知識を実践へと結び付ける「学びの循環」を形成します。

ウ 多文化理解・共創プログラムの展開

日本の伝統文化や多様な生活文化を題材とした体験型講座や交流ワークショップを実施します。文化的背景への理解を深めるとともに、参加者が協働し学び合う機会を創出し、多文化共生を担う人材基盤の強化と持続的な事業運営を図ります。

（2）劇場型ホール事業の充実

各ホールの特性を踏まえ、鑑賞・体験・創造を横断する事業構造を形成します。単なる公演実施にとどまらず、学術的知見や地域資源との連携を図りながら、文化芸術を媒介とした学びの高度化と共創の場づくりを推進します。多世代・多主体が関わる持続可能な運営モデルを構築し、地域文化拠点としての機能を強化します。

ア 芸術性を高める体験・共演型プログラム

特色ある芸術資源を活用し、参加者が自らの表現と向き合う機会と、専門家の演奏・創作に触れる鑑賞機会を往還的に構成します。体験と鑑賞の相互作用を通じて、芸術的感性の深化と地域文化の価値向上を図ります。

イ 創作活動と学術を接続する融合型プログラム

大学等との連携により、創作活動と科学・社会課題研究等を横断する体験型プログラムや講演事業を展開します。理論と実践を結び付ける構造を整え、学術的知見を市民へ還元するとともに、探究的学びを促進します。

ウ 伝統文化の継承と創造を担う連携型プログラム

地域の歴史・伝統文化団体や教育機関と協働し、次世代育成と文化継承を視野に入れた事業を推進します。鑑賞・発表・体験・交流を組み合わせることで、和文化を基軸とした文化創造と多世代交流の循環を形成します。

3 地域人財がつなぐ学びと実践の好循環事業【新】

市民の「学び」「支え」「挑戦」を地域内で循環させ、地域全体の Well-being 向上と持続可能な地域人財の育成を図ります。地域コーディネーターを養成し、多様な主体を結びつけることで、学びが地域実践へと還元される循環構造を構築します。

(1) 地域まるごと子どもの居場所

地域における人材育成と連携の機会を通じて、地域住民の知識や経験と市内地域センター・図書館・大学・企業等の資源を結び付けます。多世代が関わる学び合いの環境を整備し、地域への信頼の醸成と将来の担い手育成につながる基盤形成を図ります。

(2) 地域まるごと探究ラボ

東広島市児童青少年センターを拠点に、中高生の主体的活動を伴走支援し、課題解決型学習を通じて地域課題への挑戦を促すとともに、地域と連携した実践機会を提供し、探究力と地域参画意識を育成します。

4 文化芸術活動コンシェルジュ事業

市内における文化芸術活動の活性化を図るため、市民・団体・関係機関をつなぐ支援機能を強化します。相談・情報提供・企画支援を通じて、学びと実践を結び付け、文化活動への参加と発展を促進します。

あわせて、地域に点在する文化資源を有機的に結び、文化芸術活動の把握・共有・発信を体系化することで、持続可能な文化芸術の基盤形成を目指します。

(1) 多拠点連携による支援体制の充実

拠点施設を中心としながら、関係機関と連携した多拠点型の相談・支援体制を構築します。現場との対話を重視し、活動実態やニーズを的確に把握することで、実効性の高い伴走型支援へと発展させます。

(2) 情報発信の強化と事業ブランドの確立

多様な媒体を活用し、ジャンル横断的な文化情報を発信します。あわせて、発信内容や広報物の質を高めることで、事業の認知度向上と信頼性の確立を図ります。

(3) 文化活動の体系化と参加機会の拡充

市民・団体の文化活動を整理・共有し、ネットワーク形成を促進します。成果発信や交流機会を通じて新たな参加を促し、文化活動の広がりや連携を生み出します。

(4) 専門性の向上による包括的支援

文化芸術活動コンシェルジュの専門性を高め、相談・企画・調整機能を強化します。これにより、地域文化を支える中核的な支援体制を確立します。

5 美術館コンサルティング事業（美術館学芸業務）

地域の芸術文化の振興を目的に、美術館の学芸業務を通じて多様な活動を展開します。企画展の開催や作品の収集・保存・研究を行うだけでなく、市民が美術に親しみ、芸術文化に触れる機会を創出します。

また、教育普及活動の強化や地元アーティストとの連携を深めることで、美術館を「暮らしとともにある Art、生きる喜びに会う美術館」として機能させ、地域の文化的価値の向上を目指します。

（1）展示公開

計画的な展示企画・運営を通じて、収蔵作品の展示や全国規模の巡回展を開催します。地域の文化資源を活かし、多様なテーマに基づく特別展や企画展を実施することで、市民に芸術を身近に感じてもらい、美術館の魅力を高めます。また、来館者の増加を促進し、地域文化の振興に貢献します。

ア 特別展

- ・堀尾幸男 舞台美術展「無限」のたわむれ（自主企画）
- ・日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展（巡回展）

イ コレクション展

- ・コレクション展第Ⅰ期
- ・コレクション展第Ⅱ期
- ・コレクション展第Ⅲ期 part1, part2

ウ 第 39 回東広島市美術展

（2）教育普及事業

生涯学習や美術教育を充実させるために、体験型学習を通じて参加者の創造力や美術に対する理解を深める活動を実施します。

ア どこでも美術館

芸術文化に対する関心を高めることを目的に、学芸員が学校に出向き、鑑賞教材を用いて子どもたちに楽しく鑑賞の機会を提供します。学校内で美術館のような学びの場を作り、子どもたちの芸術的感性や独自の視点を育むことを目指します。

イ はじめてビジュツカン

市内の小学校4年生を美術館に招待し、本物の美術作品を鑑賞することで、美術館での過ごし方や美術の魅力を実感してもらいます。「新たな価値を創造する人材」を育成する一環として、子どもたちの創造性や思考

力を刺激します。

ウ ワークショップ等

各展覧会に関連するワークショップを開催し、参加者が自らの創造力を発揮できる機会を提供します。これにより、展示作品への理解を深めるとともにアートを通じた交流、そして創造力を育むことで、地域の文化芸術活動の活性化を図ります。

(3) 調査・研究

充実した文化芸術振興を図るために、美術品等の収集や収蔵作品等の保管、美術品・作家の調査・研究などを行います。

6 コミュニケーションコーナー運営事業

外国人市民が地域社会の一員として安心して暮らし、主体的に地域と関わることができる環境づくりを目的として、交流・学習拠点「コミュニケーションコーナー」を運営します。

多言語による相談対応やSNS等を活用した情報発信を行うとともに、日本語学習や市民交流の入り口となる場として機能を強化し、地域社会とのつながりを育む基盤づくりを推進します。

- ア 交流・学習スペース「コミュニケーションコーナー」の運営
毎日 8:30～20:00（年末年始・清掃日休館）
- イ 外国人相談窓口の運営（コミュニケーションコーナー内）
毎日 9:00～17:00
英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語相談員をシフト配置
その他の言語についても翻訳機能等を使用し相談に対応
- ウ 情報発信
市民生活に役立つ情報を多言語でブログ及びSNSに毎日配信
- エ 外国人無料法律相談の受付及び同行通訳（予約制 各月）
- オ 図書の貸し出し、中古品（ランドセルなどの学用品）の提供

7 国際化推進事業（多文化共生の推進）

外国人市民と日本人市民が共に学び、理解し合いながら地域共生の社会を形成していく多文化共生の実現を目指します。

特に日本語教育を基盤とし、交流機会の創出や地域活動への参画促進、人材育成を体系的に推進します。

(1) 日本語学習を基盤としたコミュニケーション支援【拡】

外国人市民が地域で安心して生活し、学び、働くための基盤として、日本語教育を通してコミュニケーション、相互理解、そして社会参画の支援を推進します。

生活場面や学習段階に応じた多様な学習機会を提供するとともに、市民ボランティアとの対話や協働を通じて、言語習得と相互理解の双方を深めます。

また、外国人市民が子どもから大人まで継続的に学ぶ環境を整え、地域社会への主体的な参加を促進します。

- ア 日本語教室（西条：毎週木日）
段階的な日本語学習の機会を提供し、外国人市民が地域生活に必要な言語能力を高められる学習基盤を形成します。

日本語習得を通じて、日常生活や社会活動への主体的な参加を促し、地域社会とのつながりを深めていく環境づくりを推進します。

また、状況に応じて、オンライン日本語コース（2か月間 全8回）を実施します。

イ 地域日本語教室「にほんごわいわい」

（西条：毎週水日／八本松：毎週土／黒瀬：毎週日／安芸津：毎週金）

地域に対話型の日本語教室を展開し、言語習得と地域交流を一体的に進めます。

市民ボランティアとの学び合いを通じて、相互理解と信頼関係を育み、地域コミュニティへの参加を促進します。

ウ にほんごひろばU-18（西条：毎週水土）

外国人児童生徒の日本語学習と教科学習を支援するとともに、安心して学び合える居場所を確保します。

学習環境の充実を通じて学校生活への適応を支え、地域社会で活躍できる次世代人材の育成につなげます。

エ One-to-One にほんご（西条：随時）

市民ボランティアとの継続的な対話を通じて、日本語運用能力の向上と相互理解の深化を図ります。

個別対話の学習環境を通じて信頼関係を育み、外国人市民と地域住民が共に学び合う関係性の形成を促進します。

オ 中国帰国者日本語教室（西条：毎週火金）

日本語学習や地域交流を通じて安心して生活できる環境を支援します。

（2）国際理解と交流の促進【拡】

文化・芸術・スポーツなど多様な分野の活動を通じて、外国人市民と日本人市民が共に学び、交流する機会を創出します。

相互の文化や価値観への理解を深めるとともに、地域の生涯学習事業や文化活動への参加を促進し、日常的な交流を通じた共生の実践を広げます。

ア 東広島国際フェスタへの参画

イ 外国人日本語スピーチコンテスト

（3）国際交流を支える人材育成

地域の国際交流を支える市民ボランティアの育成と活動支援を行います。日本語学習支援や交流活動への参画を通じて、多文化理解を深めるとと

もに、地域における共生社会の担い手となる人材の育成を図ります。

ア 国際交流ボランティアの募集および登録受付 (随時)

イ ボランティア講習会 (年3回)

ウ 活動機会の提供

日本語教室・オンライン日本語コース・日本語わいわい、
にほんごひろばU-18・One-to-One にほんご・中国帰国者日本語教室
東広島市立小中学校通訳支援

(4) 地域多文化共生の推進【拡】

住民自治組織や地域団体等との連携を強化し、地域活動の中で外国人市民が自然に参加し交流できる環境を支援します。

地域行事や学習活動への参画を通じて相互理解を深め、多様性を尊重し合う地域コミュニティの形成を推進します。

(5) 関係機関との連携と次世代育成

教育機関や関係団体との連携を通じて、国際理解教育や交流機会の充実に協力します。

学生の実習・インターンシップの受け入れや視察交流などを通じて、多文化共生の理解を深めるとともに、次世代の国際交流人材の育成を支援します。

■ 東広島市におけるスポーツ教室の開催等スポーツ振興に関する事業 (公2)

1 体育施設運営事業

東広島市における体育施設の指定管理者として、黒瀬・安芸津 B&G 海洋センター、黒瀬屋内プール、黒瀬市民グラウンド、安芸津市民グラウンド、黒瀬多目的グラウンドの管理運営を担い、生涯を通じてスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。地域住民の健康増進、スポーツを通じたコミュニティ形成、施設の安全性確保を柱とし、持続可能なスポーツ環境の整備に努めます。

(1) 誰もがスポーツを楽しめる場の提供

スポーツには、健康寿命の延伸やメンタルヘルスケア、多世代・多文化の共生、地域の活性化など様々なメリットがあります。

年齢・体力・障がいの有無にかかわらず、すべての人がスポーツの恩恵を享受できるよう、それぞれのニーズに合ったスポーツやレクリエーション活動を推進します。

ア インクルーシブスポーツの推進

ユニバーサルデザインを取り入れた運動プログラムや、障がい者スポーツ、ニュースポーツなどの各教室を開催して、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。

イ ライフステージに応じたスポーツ機会の提供

子ども向けの運動教室から、高齢者向けの健康体操、地域住民が気軽に参加できるウォーキングイベントまで、多様な世代が楽しめるプログラムを展開します。

(2) 多様な連携によるスポーツの推進

スポーツ振興は、行政、教育機関、民間企業、地域団体など多様な関係者との連携によってより効果的に実現されます。各施設を拠点として、地域のスポーツ団体、学校、福祉団体、企業と協働し、地域に根ざしたスポーツ文化の醸成を目指します。

ア 地域スポーツ団体との協働

スポーツ協会団体や、地域クラブ団体と連携し、合同イベントの開催、指導者の派遣、練習施設の提供などを通じて、地域全体でスポーツの活性化やスポーツの裾野を広げます。

イ 大学との連携によるスポーツ振興

スポーツ科学や健康増進に関して大学などの研究機関と連携し、エビデンスに基づく運動プログラムを実施し、スポーツによる健康効果、健康寿命の延伸の効果の検証を進めます。

ウ 地域コミュニティとの結びつきの強化

地域の祭りやイベント等に出向きスポーツを提供することで、住民同士の交流を深める機会を創出します。スポーツを通じた地域の一体感の醸成と施設の利用促進を目指します。

(3) 安全・安心で快適な施設運営

施設の安全管理を徹底し、快適なスポーツ環境を提供することで、利用者の満足度向上を図ります。また、利用者のニーズを的確に把握し、より良いサービスを提供するための仕組みを整えます。

ア リスクマネジメントの強化

定期的な安全点検の実施など徹底したリスク管理とスタッフの救急救命講習の受講などによる安全教育により、すべての利用者が事故なく活動できる環境を維持します。

イ 施設の維持管理と設備環境の充実

利用者が安全・安心にスポーツ施設を利用できるよう、適切な維持管理とトイレ、更衣室、シャワーの徹底した清掃、プールの快適な温度・湿度・水質管理、誰にでも分かりやすく、丁寧で、公平、安心な接遇を実践し、清潔感溢れる利用しやすい環境を作ります。

ウ 利用者フィードバックの活用

アンケート調査やヒアリングを通じて利用者の声を収集し、サービス向上に役立てます。利用者満足度の向上を目指した施設運営を実施します。

(4) 施設の特性を生かしたスポーツの推進

各施設の特性を活かし、多様なスポーツプログラムを展開します。特に、B&G財団が推奨する海洋性スポーツの振興や、生涯スポーツの推進を重点的に行います。

ア B&G財団が推進する海洋スポーツや水辺の安全教室等の実施 **【拡・新】**

黒瀬・安芸津 B&G 海洋センターを活用して、カヌー、ヨット、SUP (スタンドアップパドル) などのマリンスポーツ体験や、自分の命は自分

で守る水辺の安全教室をすべての人に提供します。

また、次世代の子どもたちに郷土教育や食育活動、食品ロス削減活動など地域の特色を生かした体験活動や各種スポーツ大会を提供します。

イ 健康促進プログラムの実施

プールを活用したアクアエクササイズや、水中リハビリテーション、フィットネスクラスを取り入れ、運動初心者や高齢者にも参加しやすいプログラムを展開します。

ウ 競技スポーツとレクリエーションスポーツの共存

黒瀬市民グラウンドや多目的グラウンドを活用し、競技スポーツの強化と、誰でも楽しめるレクリエーションスポーツの両立を図ります。地域大会の開催や、スポーツ指導者の育成にも力を入れます。

2 スポーツ振興事業

スポーツの持つ健康増進・地域活性化・生涯学習の側面を最大限に活用し、市民の体力向上、健康維持、およびスポーツ文化の発展を目的とした事業を推進します。行政や地域団体と連携し、多様なスポーツプログラムを提供するとともに、スポーツを通じたコミュニティ形成を促進し、市民が生涯にわたりスポーツを楽しめる環境を整えます。

(1) スポーツ振興を通じたまちづくりの推進

東広島市の委託を受け、市民の体力向上・健康維持・スポーツ振興を目的とした各種事業を展開します。本事業では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツに親しめる環境を整えるとともに、地域スポーツの活性化を目指します。スポーツを通じた健康づくりや交流の機会を提供することで、市民の生活の質の向上を図ります。

ア スポーツ教室の実施

日常的なスポーツ習慣の定着と、生涯スポーツの推進を目的として、各種スポーツ教室を開催します。特に、未経験者でも参加しやすいニュースポーツの導入や、世代を超えた交流が可能なプログラムを充実させることで、市民一人ひとりが楽しめる機会を提供します。

・ニュースポーツ教室の開催（3地域、96回）

ユニバーサルなルールで誰でも気軽に楽しめるニュースポーツ（ボッチャ、ユニカール、ペタンク、モルック等）を導入し、地域住民の交流の場、スポーツの振興、スポーツ参加率向上を図ります。

・多様なスポーツ教室の実施（水泳教室、健康アップ教室等、随時開催）

年齢・体力レベルに応じた多彩なスポーツプログラムを展開し、フレイル予防や生活習慣病予防など運動機能向上を目指します。

・親子の触れ合い講座（10組5回程度）【新】

未就園児とその保護者を対象として、プール、リトミック、体操、絵本の読み聞かせなど、子どもの発達の促進と親子の絆を深めることを目指した運動、遊び、学びの講座を開催します。

イ 生きがい健康体育大学の開講（全12回の講義・実技）

健康づくりに関する科学的知識を学び、地域の健康推進活動に貢献できる人材を育成することを目的に開催します。

・スポーツ科学・栄養学の講義

運動生理学、栄養学、メンタルヘルスなどの専門的な知識を習得し、健康維持に必要な理論を深めます。

・実技を通じた学びの実践

ストレッチ・ウォーキング・軽運動の指導技術を習得し、地域での健康づくり活動に活かせるよう支援します。

・コミュニティ健康運動パートナーの地域活動の促進【新】

住民自治協議会やスポーツ推進委員、東広島市スポーツ協会、通いの場などと連携し、地域に根ざしたスポーツ・健康活動を推進します。

また、指定管理施設を活用して、新たに「通いの場」を立ち上げ、コミュニティ健康運動パートナーが、運営や運動指導などで活躍できる環境を整えるとともに、参加者同士がふれあいを通じて「生きがいづくり」、「仲間づくり」を増やすきっかけの場所となることを目指します。

ウ スポーツの日の行事（アクアパークチャレンジスポーツ）

スポーツの日の記念行事として、アクアパーク等を利用したスポーツ体験会を開催し、10種類のスポーツ競技を「触れる」「楽しむ」「好きになる」「始める」のきっかけづくりの場を提供します。

・初心者向けの体験プログラムの充実

未経験者が気軽に参加できるよう、ルール説明やデモンストレーションを充実させます。

・世代間交流イベントの実施

親子・シニア・学生などが一緒に参加できる種目を導入し、スポーツを通じたコミュニティ形成を促します。

エ スポーツの普及及び振興に関する事業（5地域）

市内各地域センター等でニュースポーツ指導・紹介を行い、地域におけるスポーツ活動の普及に努めます。

オ 体組成計（Inbody）の活用【拡】

開催している各教室の受講生に測定を促し、現状の体水分量、タンパク質、ミネラル、体脂肪量等を可視化して、健康づくりや生活習慣の改善に役立ててもらいとともに、東広島市の保健師等と連携して各地域に出向き、測定と併せて運動指導をすることで「自身の健康促進」や「地域のフレイル予防」、「コミュニティの活性化」に繋がります。

(2) 海洋性レクリエーションの普及啓発事業（6月～9月、全10回）

小・中学生を対象に、センターインストラクターや地域指導者と連携し、カヌー、ヨット、ローボートなどの海洋性スポーツを体験できる教室を開催し、普段できないレクリエーションスポーツの楽しさを実感してもらうことと、その普及を図ります。

ア 安全教育と基本技術の指導

水上スポーツの基本技術指導に加え、安全な楽しみ方を学ぶ機会を提供し、事故防止に努めます。

イ 環境教育の導入

海洋スポーツを通じて自然環境の大切さを学ぶプログラムを実施し、持続可能なスポーツ活動の意識を育成します。

(3) 東広島市で活動する諸団体との連携

東広島市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、海洋クラブ、東ひろしま新春駅伝競走大会実行委員会、ひろしま県央競歩大会実行委員会などの地域スポーツ関係団体と連携し、事務局運営・イベント補助を行いながら、地域スポーツ活動の推進に寄与します。

ア 地域スポーツ大会の支援

駅伝・競歩大会などの開催を支援し、地域に根付いたスポーツ文化を促進します。

イ スポーツ指導者の育成

地域の指導者向け研修会を実施し、指導者の質の向上とスポーツ環境の整備を図ります。

3 スポーツ教室（自主企画）事業

市民の体力向上、健康維持、スポーツ振興を目的とし、年間を通じて多様なスポーツ教室を開催します。

ア スポーツ技術の向上と健康増進の両立【拡】

初心者向けから競技志向のクラスまで、多様なレベルに対応したテニス・卓球・バドミントンや、運動公園でも新たにピククルボールの教室を実施し、技術の向上を図ります。

イ フィットネス・ウェルネスプログラムの強化

リラクソヨガ、ズンバ、はじめてのヨガ、アクアビクス、水中エクササイズ、スリムアップ健康体操など、健康維持を目的としたクラスを拡充し、幅広い層の参加を促します。

ウ 子どもの運動能力向上支援

ジュニアフロアリズム、きつず運動を通じて、幼少期からの運動能力の向上と運動習慣の確立を支援します。

4 国民健康保険事業（健康増進運動教室）

身体機能の維持向上や生活習慣病予防、健康寿命の延伸等に向けて、運動習慣の重要性と、動機づけを目的とした国民健康保険事業の講座を実施します。

ア 健康増進運動教室（2地域、各8回）

日頃体を動かす機会の少ない市民（40歳以上）をターゲットに、気軽に行えるウォーキングやニュースポーツ、健康エクササイズなどの実技指導や、健康に関する講義を行い、健康・体力の維持向上に関する知識の習得と運動の習慣づけを支援することを目的として開催します。

5 黒瀬地域「健康・福祉と交流のまち」推進事業

黒瀬地域において健康スポーツに関する事業等を展開することにより、地域住民の健康増進と交流の促進を図ります。

ア 市民交流型ウォーキング（3回実施予定）

黒瀬地域の住民が交流できるウォーキングを開催し、地域の健康増進と、子どもから高齢者までの多世代交流の機会を設けます。

イ 地域交流型ウォーキング（2地域開催）

地域（住民自治協議会）が主体となった健康増進事業に、広島国際大学の連携・支援を受けて、地域住民の交流促進並びに事業の高度化を図ります。

ウ 地域共生型の健康づくり

世代や分野を超えてつながる社会を目指した交流事業として、黒瀬町内の障がい者施設と連携し、黒瀬高校生徒が企画・準備した交流イベントと健康スポーツに取り組みます。

エ 健康チェック・体力測定会（4回程度実施）【拡】

自身の健康状態を知る機会を設けて、地域住民の健康に対する意識の高揚を図ります。これまで開催していない地域やサロン、集会所などでもこれら測定会を展開していきます。

6 その他（スポーツ情報啓発など）

市民のスポーツへの関心を高め、普及・振興を促進するため、体育・スポーツ・レクリエーションに関する情報を収集・調査し、提供します。最新のスポーツイベントや施設情報を発信するとともに、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。

ア 月刊紙『HGH』の発行

事業団主催事業や各種スポーツイベント、施設情報を掲載し、スポーツの魅力を発信します。

イ ホームページやSNSでの情報発信【拡】

公式ホームページやフェイスブック等のSNSを活用して、施設や講座、イベントなど、様々な取り組みを積極的に情報発信します。様々な人に関心を持ってもらうとともに、施設利用数の増加や講座・イベントの参加者の増加に繋げていきます。

ウ 資料の収集・掲示

ニュースポーツのルールやストレッチ方法など、スポーツ実践に役立つ資料を提供します。

エ 備品等の貸し出し

地域住民の健康増進やスポーツ活動の振興を図るため、さまざまなスポーツ用具や備品を貸し出すサービスを提供します。これにより、地域住民が気軽にスポーツを楽しむことができ、地域のスポーツ文化を育むこ

とを目指します。特に、グラウンドゴルフやユニカール、モルックなど、幅広い年齢層が参加できるスポーツ活動について、指導者派遣やプログラム提供など支援し、地域の交流やコミュニティ作りにも貢献します。

『その他の事業』

■ 施設利用者の利便性向上に関する事業（他1）

東広島市文化・学習センターの指定管理業務の一環として、施設貸出における非公益目的の利用についても、市の教育・文化・芸術活動の推進および地域振興の観点から支援を行い、「その他の事業」として実施します。

施設を単なる貸出空間としてではなく、学びと文化活動を支える基盤機能として位置付け、利用者が円滑かつ快適に活動できる環境を整備します。

公共予約システムや利用状況の把握・分析等を通じて利便性の向上と稼働の最適化を図るとともに、データに基づく適切な施設管理と安全性の確保を推進します。

また、施設貸出により形成される運営基盤を主催・自主事業へと循環的に還元することで、公益性と持続可能性を両立した経営を推進し、文化・学習の拠点としての機能を一層強化します。